

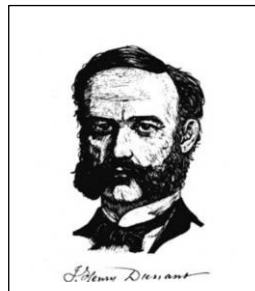


5月の学校朝会 ～アンリー・デュナンと若葉小～

今週は3日の登校で、また4日間のお休みです。そんな連休を挟んだ本日、5月の学校朝会がありました。今回は「赤十字の父」と呼ばれ、第1回ノーベル平和賞を受賞したアンリー・デュナンについて次のようにお話ししました。低学年には少し難しかったかもしれませんが、子どもたちは、真剣に聞いてくれました。

この人のこと、知っていますか？ **アンリー・デュナン**という人です。「**赤十字の父**」と呼ばれる人なのです。教室に貼ってあるところもありますね。

なぜ、教室に肖像画が貼ってあるのか、考えたことはありませんか。



若葉小は今から約50年前の昭和50年に、このアンリー・デュナンさんの立ち上げた「赤十字」の考えがもとになっている JRC 活動に参加することになったのです。この JRC 活動とは、「**青少年赤十字 (Junior Red Cross)**」の略称です。そして、若葉小が創立して63年間の中で何度も JRC 功労賞を受賞しているのです。このアンリー・デュナンさんの考えをしっかり持っておきましょうということで、あちこちの教室にこの肖像画が貼られているのだと思います。

では JRC の教えとは何なのでしょう。「青少年赤十字ハンドブック」を使って説明します。

「青少年赤十字」の目的は、「誰の心にもある『困っている人や苦しんでいる人を見たら何か役に立つことをしたい』という気持ちを素直に行動に移す『赤十字』の人道の心を大切にして、人々の幸せや世界平和のために尽くせる人になるよう努力すること」と書かれています。そして、その中に含まれる「**奉仕の心**」

を若葉小は、校訓の一番目に置き、今までも頑張ってきた歴史があるのです。

朝の VS 活動がありますね。毎週火曜日です。VSとは、ボランティア・サービスと



言い、「自由な意思という意味のラテン語がもとになり、**自分の自由な意思で人のために活動すること**」です。その活動をする人を「ボランティア」と呼んでいます。

「青少年赤十字活動」とは「自分の周りを注意深く見回して、今何が必要か自分で**気づき**、計画を立てて**考え**、計画に沿って**実行する**。何かをもらえることを期待して行うものではなく、自分から進んで『気づき、考え、実行する』」とも書かれています。まさに、先日お話をした若葉小の学校教育目標の1つです！今までの若葉小の伝統であった「VS 活動」の精神を今いる私たちも引き継いで、これからも伝統として残していきたいですね。

毎週火曜日に

は放送委員会が7時50分から VS 活動の音楽を流してくれます。緑化委員会や環境委員会もタイアップして、「こんなことをしてくれると嬉しいな」と気づいた場所を放送してくれます。すでに、今年度も自分で気づき、考え、行動してくれている人をたくさん見て、嬉しく思っています。

以上のような話を真剣な表情で聞いてくれた子どもたち。心に響いて行動に移せるよう、私たち教員もしっかりサポートしていくつもりです。

ボランティアとは

- ・困っている人にいち早く気づいて、自分からすすんで行うものです。
- ・何かをもらえることを期待して行うものではありません。
- ・相手のためでもあり、自分を生かし、高めるものでもあります。

「青少年赤十字ハンドブック」よ